

「多面的・多角的に考えること」

を重点とした道徳科の授業づくり

第3学年 道徳科学習指導案

1 主題名 「その子の世界、私の世界」 (内容項目：D-18 国際理解、国際貢献)

2 教材名 「その子の世界、私の世界」 (出典「新しい道徳3」 東京書籍)

3 主題設定の理由

C-(18)【国際理解、国際貢献】とは、世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与することである。今日、グローバル化が進展する中、ニュースや他教科の学習などを通して、簡単に解決できない国際社会の問題について知る機会はある一方で、自分事として深く考える機会は多くない。今後ますますグローバルな相互依存関係の中で生きていく中学生にとって、世界の情勢に目を向け、国際社会で生きる能力を身に付けることはこれまで以上に必要となってくる。さらに、世界の平和と人類の発展に寄与するために、国際社会において自分にできることを考え、その理想の実現に努めることが大切である。これまで学習してきた内容をさらに発展させ、国際的視野に立って物事を考えたり国際社会の問題を解決するために自分にできることを考えたりすることで道徳的価値を深めさせていく。

本学級の生徒は、過去に社会科では、世界情勢に関する学習内容に興味を持ち、休み時間に友達同士で会話する様子が見られた。英語科では、異文化に触れることでその知識を生かしコミュニケーションを図ろうしたりする場面が見られた。一方で、「国際問題は遠く離れた日本の外で起きていること」と認識している生徒が多い。

こうした生徒の実態を踏まえ、まずは、『その子の世界、私の世界』の4枚の写真資料で、世界の子どもたちが紛争、貧困、難民、児童労働などの状況に置かれていることを理解させる。そして、カカオチョコレート为例に、世界の問題は自分とは無関係でないことに気付かせ、国際的視野に立って国際社会の問題を理解し、持続可能な社会の形成という視点から世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てたい。以上のことから本主題を設定した。

4 本時のねらい

四枚の写真を見て、世界の子どもたちを取り巻く現実について考えることを通して、国際的視野に立って国際社会の問題を理解し、持続可能な社会の形成という視点から世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。

5 本授業のポイント

- ① 世界の現状について知り、感じたこと、考えたことを友達と話し合うことで自分の考えを深める。
- ② ICT端末を活用し、全体で互いの考えを共有することで、ねらいとする価値の理解を深める。

6 本時の展開

	学習活動 ○主な発問 ・予想される児童生徒の発言	留意点や評価の観点 等
導 入	<p>1 世界で今、どんな問題が起きているかを知る。</p> <p>○あなたはどんなときに幸せを感じますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームをしているとき ・ご飯を食べているとき ・寝ているとき <p>○世界のみんなは今幸せだと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はい ・いいえ <p>○今、この瞬間も世界ではどんな問題がおこっているか知っていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争、紛争、貧困など <p>テーマ： みんなが幸せに暮らすために大切なことはなんだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分事として問題意識を持たせ、国際社会で起きている問題に関心を持たせる。 ・問い返しを行う。 ・世界で起きている問題をいくつか挙げる。
展 開 前 段	<p>2 教科書の4枚の写真を見て、写真の子どもたちが幸せか幸せではないか自分の考えを持たせる。</p> <p>○この写真の子どもたちは幸せだと思いますか。なぜそう思いましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A：幸せではない。銃を持っているから。 ・B：幸せではない。泣いているから。 ・C：分からない。 ・D：幸せではない。重そうだから。 	

	<p>3 教科書を開き、彼らが置かれているそれぞれの状況を理解させる。</p> <p>補助発問：「この子たちと自分の暮らしを比べてどう感じた？」</p> <p>4 カカオ豆の背景に児童労働があることを理解する。</p>	<p>・動画、写真、イラストなどを使い、普段食べているチョコレートの裏側を知り、自分と世界の問題は無関係で無いことに気付かせる。</p>
<p>展開後段</p>	<p>5 「この子たちにとっての一番の幸せは〇〇だ」に当てはまる言葉を考える。</p> <p>補助発問：「この子たちが一番に望むことは何？」</p> <p>①個人思考 ②グループで話し合い Jam board に記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A：戦争が終わること。戦争がなくなること。 ・B：安心して過ごせる家があること。長生きすることができること。 ・C：戦争がなくなること。帰る場所があること ・D：学校に行くこと。 <p>6 世界の子どもたちが置かれている現実を知って思ったこと、考えたことを Jam board に記入した後、全体交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界にはたくさん困っている子どもたちがいる。 ・普段食べているチョコレートは、自分と同じくらいの歳の子どもたちが強制的に働かされることで食べられる。 	<p>・世界の子どもたちを取り巻く現実とは自分と無関係ではないことを理解した上で、jam board で交流することで、考えを深めさせていく。</p> <p>期待する生徒の発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が幸せな時間は学校に行かずにゲームをすることだったけど、この子の幸せは勉強することだと感じた。 ・数名に、なぜそのように考えたのかを尋ねる。 <p>補助発問：「なぜそう感じたの、考えたの？」 「もう少し詳しく教えて？」</p> <p>評価</p> <p>多様な考えに触れ、その意見を受けとめ合っている。</p>
<p>終末</p>	<p>7 Jam board に世界の人々が幸せに暮らしていくためにはどのようなことが大切かを記入する。</p> <p>○自分の身近な人はもちろん、世界のみんが幸せに暮らしていくためにはどのようなことが大切だと思いますか。</p>	<p>・世界の問題は自分と無関係ではないことだと気付いた上で、世界の人々が幸せに暮らすために大切なことを考えさせたい。</p> <p>評価</p> <p>自分事として、本時のねらいとする価値について考えを深めている。</p>